

独立行政法人統計センター評価に関する有識者会議[議事要旨]

1 日 時:令和2年8月26日(水) 13:30~14:30

2 場 所:総務省第2庁舎 7階統計局長室(オンライン併用)

3 出席者:(有識者):廣松毅(座長)(オンライン:岩下真理、加藤久和、小林稔、津谷典子)(敬称略)

(統計局):佐伯統計局長、永島総務課長、今井課長補佐、事務局

(統計センター):植山経営審議役

4 議 題:(1) 令和元年度に係る業務の実績に関する評価(案)について
(2) 総合評定(案)について
(3) その他

5 議事概要:

(1) 総務省統計局から令和元年度に係る業務の実績に関する主務大臣による評価(案)の説明が行われた。

(2) 質疑が行われた後、総務省統計局から総合評定(案)について、説明が行われ、項目別評定及び総合評定共に妥当であるとの意見で一致した。

(3) 有識者からの主な意見等は以下のとおり。

○要員投入量の削減が必ずしも良いこととは限らない。要員投入量は熟練職員か否かによっても変わるし、要員投入量の評価は計画値の算出次第でも変わる。評価の安定性確保のためにも、評価基準の精査や、定量化に向けた中期的な検討をすることが重要。

○企業調査支援事業の回収率98.5%は相当高い水準であり、S評価は妥当と考える。

○オンサイト利用については、ユーザの需要や意向をまだ掴めていないため、潜在ユーザを含めてアンケートで把握することも一案ではないか。

○製表業務の評価の視点の見直しについて賛成。

○業務改善は様々あるところ、現状の加点段階(3段階)では粗い。またプラスの取組については積極的に評価できることが望ましい。

○相互に関連するいくつかの評価項目は包括的に評価することも一案。

○評価の枠組みや根拠、質の観点からの評価など、本日の指摘を踏まえて今後検討・反映いただきたい。

以 上